

欧州特許庁António Campinos新長官、就任メッセージを公表

2018年7月4日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）António Campinos 新長官は、同庁のウェブサイトにて就任メッセージを公表した。

本就任メッセージによれば、2018年7月1日にEPO長官に就任したことは光栄であり、EPOは高品質特許を付与するリーダーとして高い評判を得ており、また、約7,000名もの有能かつ経験豊富な職員により、特にここ数年でEPO全体のパフォーマンスの向上を示すことができたとしている。また、本就任メッセージによれば、EPO長官として今後進めていくべき課題として、EPOのサービスを適切な方法でより効果的に提供すること（effectiveness）、欧州特許条約（EPC）締約国との協力強化等を含めた、協力を進めること（cooperation）、職員との対話（dialogue）の3点を掲げるとともに、来年6月にはEPOにおける複数年ワークプログラムを示す戦略計画（Strategic Plan）を欧州特許機構管理理事会に示す予定としている。

なお、EPOのウェブサイトでは、本就任メッセージとともにCampinos長官の略歴も公表している。

－ EPOのウェブサイトは、以下参照 －

[Message from the new President](#)

[President António Campinos \(CV\)](#)

－ EPO新長官に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 －

[欧州特許庁、António Campinos 新長官が就任（2018年7月2日）\(PDF\)](#)

[欧州特許庁次期長官に António Campinos 氏（現欧州連合知的財産庁長官）を選出（2017年10月11日）\(PDF\)](#)

（以上）